

情報連絡員報告総括表(平成28年1月分)

三重県中小企業団体中央会
連絡員総数 40名
回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況		
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製 造 業	食料品	1	3			4		1	2	1		4			3	1		3	1		3	1		3	1	1	2	1
	繊維工業		1	2		3			2	1		2	1			3		1	2		1	2		2	1			3
	木材・木製品			1		1			1				1			1			1				1					1
	紙・紙加工品		1	1		2			2			2			2			2			1	1		1	1		1	1
	印刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1	
	化学・ゴム																											
	窯業・土石製品	2		1		2	1		3			3		1	1	1		3		1	1	1	1	2		1	2	
	鉄鋼・金属	1				1			1			1		1				1			1			1			1	
	一般機器		3			3			3			3			3			3			3			3			3	
	電気機器			1		1					1				1			1				1			1			1
	輸送機器			1		1			1			1				1				1			1					1
その他																												
小計		4	9	7		19	1	1	16	3		18	2	2	10	8		16	4	1	11	8	1	16	3	2	11	7
非 製 造 業	卸売業		1	1		2			2			2			2			2					2			1	1	
	小売業	1	3	2		6		2	2	2		4	2		4	2		3	3				6			2	4	
	商店街		1		1				1			1			1			1					1			1		
	サービス業		2	3					5			5			3	2		3	2				5			5		
	建設業	1	3						4		1	3		1	3		1	3					4		1	3		
	運輸業		1						1			1			1			1					1			1		
	その他		1						1			1			1			1					1			1		
小計		2	12	6	1	8		2	16	2	1	17	2	2	14	4	1	14	5				20		1	14	5	
合計		6	21	13	1	27	1	3	32	5	1	35	4	4	24	12	1	30	9	1	11	8	1	36	3	3	25	12

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成27年1月～平成28年1月)

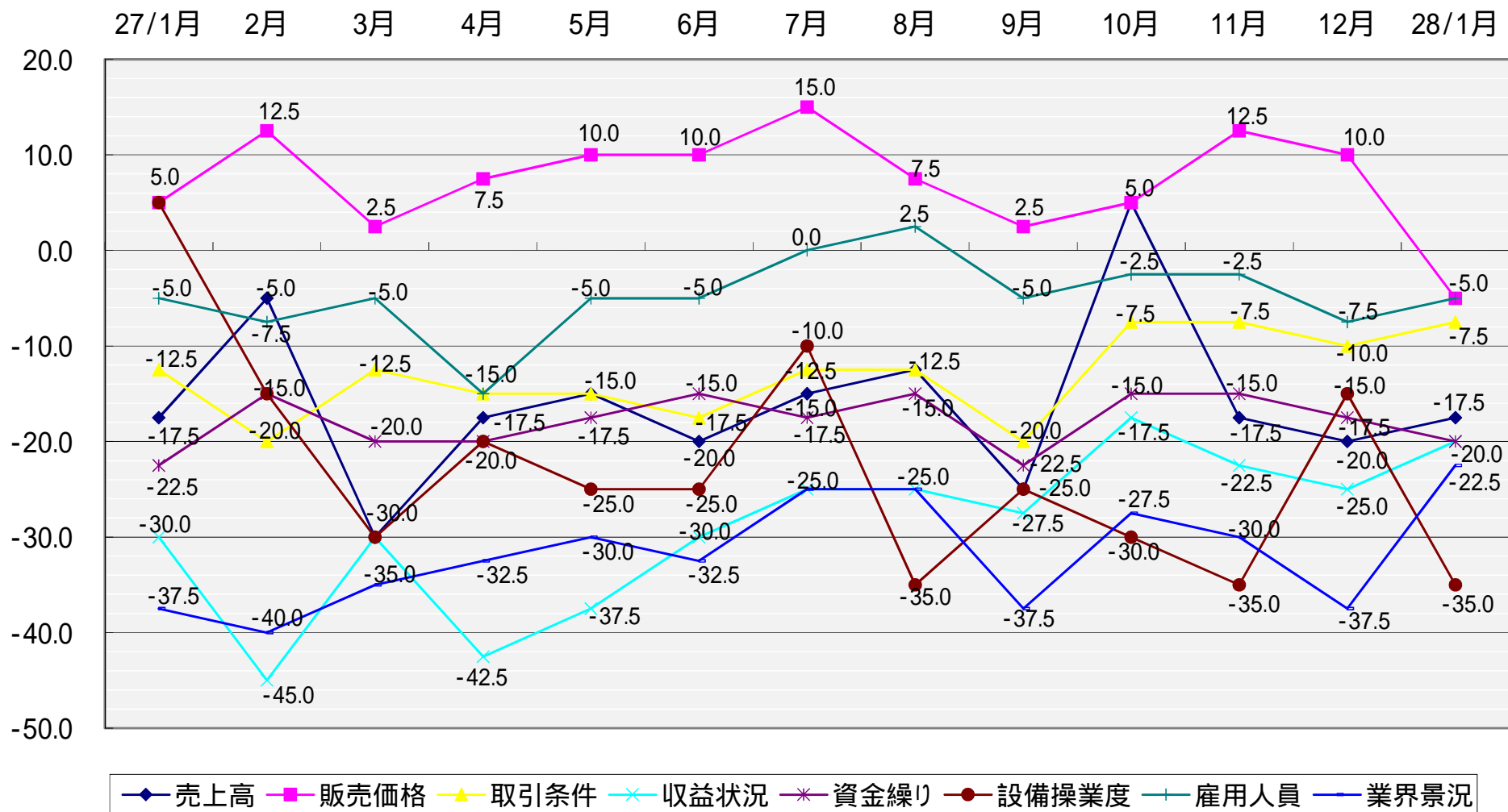
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	27/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28/1月	増減
売上高	-17.5	-5.0	-30.0	-17.5	-15.0	-20.0	-15.0	-12.5	-25.0	5.0	-17.5	-20.0	-17.5	2.5
販売価格	5.0	12.5	2.5	7.5	10.0	10.0	15.0	7.5	2.5	5.0	12.5	10.0	-5.0	-15.0
取引条件	-12.5	-20.0	-12.5	-15.0	-15.0	-17.5	-12.5	-12.5	-20.0	-7.5	-7.5	-10.0	-7.5	2.5
収益状況	-30.0	-45.0	-30.0	-42.5	-37.5	-30.0	-25.0	-25.0	-27.5	-17.5	-22.5	-25.0	-20.0	5.0
資金繰り	-22.5	-15.0	-20.0	-20.0	-17.5	-15.0	-17.5	-15.0	-22.5	-15.0	-15.0	-17.5	-20.0	-2.5
設備操業度	5.0	-15.0	-30.0	-20.0	-25.0	-25.0	-10.0	-35.0	-25.0	-30.0	-35.0	-15.0	-35.0	-20.0
雇用人員	-5.0	-7.5	-5.0	-15.0	-5.0	-5.0	0.0	2.5	-5.0	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0	2.5
業界景況	-37.5	-40.0	-35.0	-32.5	-30.0	-32.5	-25.0	-25.0	-37.5	-27.5	-30.0	-37.5	-22.5	15.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成28年1月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	一時、暖冬などの影響で需要が低下していたが、平年並みに戻りつつある。
		醤油味噌	年初に三重県関西事務所より、3月6日(月)大阪ガスで開催される伊勢志摩サミット関連の県産食材を使った食のイベントにおいて、使用する醤油・味噌の無償提供と、参加の案内があったので、組合員からの見本を送り、有名なプロの料理人に提供できることを願っている。何社かは参加の見込みである。また、大手スーパーでの全国地域主要店における「みえ伊勢志摩フェア」への参加要請もあるが、全ての参加は無理なので、条件等を相談の上、関東・関西各1店での参加を検討する。
		豆腐	原油安により、燃料費が昨年同時期に比べ割安である。
		麺	4月、5月からイオンの全国7エリアで三重県フェア(伊勢志摩サミット関連)が開催され、当組合も伊勢うどんフェアを開催することとなった。これを機に全国の人に伊勢うどんを知ってもらえるチャンスなので、おいしい伊勢うどんを食べていただけるように取り組んでいきたいと思う。
	紙・紙加工品	紙器段ボール箱	暖冬のため、食品関係の段ボールの出荷も少し減少した。自動車関係の分野が若干動き始めた。
		古紙	1月期の仕入れ量は、前年比で段ボール:約94±7%、新聞・チラシ:約89±6%、雑誌・雑紙・その他合わせて:約94±4%の中で推移と思われる。安倍政権の大臣辞任や更なる政治とカネを問題にして政財界も混乱している。厳密・厳正に取り締まれば、かなりの定数削減に繋がるシナリオになりそうだが警察組織や軍備に充てたり、市町村を通じて国民還元できるようにも考えられる。核家族化と高学歴化、各家庭の収入不安等の原因で少子高齢化と人口減少は古紙の発生をも減少させ続け、経済の担い手としての次世代育成に影響が出るかもしれない。日銀のマイナス金利は、金利負担の多い企業には朗報だが、貸し倒れが更に増え、国民や企業の負担が増えるような気もする。コツコツ真面目にしていれば、食べれる時代ではなくなった感があり、張り合いがない時もある。
	印刷	印刷	年度末の繁忙期に向けてようやく受注が増加してきた。反面この時期は印刷の前段階の制作等に作業が集中するため、製品の納品には至らず、収益の増加につながるのは次以降になる。県民手帳は前回早期完売で、多くの方が購入できなかつた反省から、大幅に冊数を増加したが、今回もほぼ完売することができた。関係各位・書店・販売店・購入された方に感謝している。
	窯業・土石製品	伊賀焼	伊賀焼伝統産業会館及び伊賀・信楽古陶館とも売上は昨年を上回った。また、入館者については伊賀焼伝統産業会館は昨年を上回ったが、伊賀・信楽古陶館については、昨年を下回った。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界全体の生産量としては12月とほぼ同様で、扱う製品によって増加・減少傾向とに分かれたが、全体の売上は若干伸びた。自動車関連はT社の2月1週間操業停止の影響があり、2月の生産量は若干落ちることが懸念される。半導体関連はどの国の生産向けかにより、減少・増加とに区分されたが、全体的に増加傾向が見られた。この傾向は3月いっぱいまでは続くと言われている。
	一般機器	北勢	政治の混乱や他国との関係等、不透明な環境の中、当組合員は自助努力を続けている。多少の差はあるものの、何とか利益を確保している。
		北勢	一般機械器具は年度末が近づいて生産量が増加した。特に建設、設備関連、部品は大幅に増加している。
		南勢	今年に入り、中国の景気減速の顕著化や原油の値下がり等により、世界同時株安の様相を呈してきている。この状況が続けば、更に実態経済への影響が出てくるのは必至であり、今後組合員の足元の受注量に影響が出てくるのを懸念している。
	電気機器	南勢	発注量がこのこきてスローダウンしている。本来ならば増加する時期であるが、原因はわからず、全体的な景気の悪化を懸念している。
	輸送機器	北勢	中国国内の件費高騰や景気に陰りが出ている影響もあり、工場進出していた組合員で事実上の撤退を決定したところがある。
非製造業	小売業	青果	野菜は年末年始も暖かく、入荷が全体的に安定した。特にキャベツ・大根・白菜・白ねぎがお値打ちであった。ジャガイモ・玉ねぎ・ニンジンも安値で、レタス・キュウリ・トマトは入荷が少なく、高値であった。後半は寒波に見舞われ、キュウリ・トマトの生育が鈍く、高値であった。ほうれん草・小松菜もやや高い。果物は前半ではみかんは貯蔵量が例年の7割ほどで、高値が続いている。リンゴ・サンフジは信州産から青森産が中心。後半は冷え込みでイチゴの入荷が減り、高値であった。リンゴも中国などへの輸出が伸び、高値であった。柑橘類のポンカン・はるみ・デコポン等の入荷が増えた。
		自転車	日本自転車商協同組合連合会(日商連)より、自転車・タイヤ・チューブ等(ホダカ製)の共同購入製品が発表された。1月中旬には新入学通学用自転車の展示会を開催した店があり、天候にも恵まれていた程度の来客があったとの情報があった。年々販売台数が落ち込む中、2016年モデルも昨年に引き続き同等品で平均4,000円程の値上がりとなり、今期の春需を迎え、各ショップとも販売数がどの程度伸びるか注目するところである。

非製造業	小売業	家電	昨年度業界では、前年ダウンの見通し、1月度も引き続き厳しい状況は変わらず推移している。商品別で好調なのは、4Kテレビや白物家電で高性能・高付加価値商品が顕著な動きをしているものの、全体への影響力は少ない。本年はリオオリンピック年でもあり、薄型テレビの買い替え需要が期待される。また、電力自由化により「創エネ・蓄エネ・省エネ」商品の販売のチャンスでもあり、地域電器専門店の強み「近くて・便利で・顔なじみ」、巡回訪問活動を基本に、高齢者シニアマーケット獲得に向け取り組んでいる。
		石油	1月度の燃料油販売数量の状況は中旬以降の寒波の影響もあり、前年度対比4%前後の増販であった。原油価格の下落に伴う石油製品値下げの影響により、販売価格の下落等も左右して販売数量については幾分昨年よりは改善できた。しかし特にガソリン販売価格については、販売競争の値下げの影響が大きく、収益面においては厳しい状況には変わらない。来月以降については車検及びタイヤ販売キャンペーンの販売促進強化を図っていきたい。
		スポーツ用品	今、業界で大きなメーカーが組織を新しくすべく改革に取り組んでいる。ところがこの改革はメーカーサイドには都合のよいことであるが、中小零細の小売スポーツ店にとっては覆耳に水のように、ある日突然起こることがあり、困っている様である。全てのスポーツ小売店が関係するのなら業界をあげて要望するところであるが、そうではない店もあるので、組合としては困っている。
	商店街	熊野	第4回目として開催された熊野のサンマをPRするイベント「熊野野のもとさんま祭り」は熊野周辺ほか県外などからの集客があり、昨年以上の盛り上がりを見せた。4回目ということで、定着感がでてきた結果であると感じる。また、さんま関連商品を取り扱う出店業者の商品も完売が相次ぎ、相乗効果が出ていると感じられる。
	サービス業	旅館	今年の年始は休みが短く、3日が満室にならなかった施設もあった。伊勢神宮以外は入込客数が減少していた。宿泊客も1月全体では低調であった。伊勢志摩サミットを控えている三重県は旅館も満室で道路・公共交通機関も規制がかかり、警備も厳しく、予定の行程が組めないのでサミットが終わるまで送客を控えたほうが無難といった近隣の旅行エージェントから声が上がっていて、今後の予約状況も低調であることから風評対策を急ぐ必要がある。
		飲食業	今年に入り、加工冷凍食品消費期限切れ横流し事件が発覚し、外食や弁当惣菜への消費者への不安が増すことが懸念される。事業者は仕入れ食材の管理や自店からのテイクアウト商材への賞味期限表示等にも今後も徹底して管理運営していかなければならない。
		警備業	年始の土木事業の休暇分、稼働日数が減少し、売上減少となった。
	建設業	総合工事業	伊勢及び志摩地域は伊勢志摩サミット関連の環境整備として舗装工事が発注され、一息ついたが、他地域は依然として厳しい状況が続いている。
		内装工事業	前月とは一転して今月は売上等が前年対比で増加になった。業界としては年度末を控え、どのような動きになるのか予想が非常に難しい。
		水道工事業（北勢）	今月は特に大きな変化は見られなかった。ただ気候が急激に寒くなったため、水道工事の修理業務が増加した。
運輸業	トラック	引き続き燃料である軽油の価格が値下がり状況にあり、収支の改善に寄与している。輸送量は減少状況で推移している。	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	今後サミットに向けて各所からの要望に添えていく。伊勢うどん関連での要望があれば連絡が欲しい。
一般機器	北勢	中小企業の活性化なくして日本経済の向上はない。政府の思い切った中小企業援助を望む。
	南勢	財政改善のため、消費税率を引き上げるといのに、軽減税率の導入や、低所得者（特に高齢者）への補助金の拠出等、どう考えてもおかしな施策である。国の財政が借金まみれであるにもかかわらず、いつまでも先送りを受け、そのツケを次世代に負わせることはやめて欲しい。
サービス業	旅館	風評対策には県の観光局で動いていただいているが、様々な媒体を使った発信も必要であり、県民会議も一体となって風評対策に取り組んでもらいたい。サミット予約センターからも発信の協力をお願いしたい。
運輸業	トラック	県内の道路整備の早期完成（新名神高速、国道1号線、北勢バイパス、23号線、中勢バイパス、東海環状道路等）